

東京大学史料編纂所

史料編纂所は、日本前近代(古代～明治維新)史料の編纂を中心事業とする、**歴史学**の研究所です。その淵源は、1793年に国学者塙保己一(はなわ・ほきいち)が江戸幕府の援助を受け開設した和学講談所にさかのぼります。【史料編纂】の基礎となる史料調査・収集は、1885(明治18)年から本格的に始まり、その蓄積の上に1901(明治34)年から史料集の刊行が開始されました。以後100年余りの活動のなかで、『大日本史料』・『大日本古文書』・『大日本古記録』・『大日本近世史料』・『日本関係海外史料』・『花押かがみ』などの書目名で刊行された**基幹的史料集**は総計1000冊を超え、国内外の日本史研究者に活用されています。

新発見! 「倭寇図」を科学する

日本史のどんな教科書にも載っている「**倭寇図巻**」は、本所の所蔵史料です。よく知られた絵画史料ですが、実は今まで知られていなかった**新事実**があったのです! **特殊撮影**がとらえた年号の書きこみ。さらに、日中両国で続々と紹介される**新出図像**の数々。今回は、数々の新発見をもたらした、**日本史・東アジア史研究の最先端**へのご案内いたします。

【開催日時】：12月 23日(金) 10:00～16:00

【開催場所】：史料編纂所 1階(展示ホール)

※事前申込等は不要です。ご自由にご覧ください。

